

2018.1.14日 13:30~16:30 (受付開始 13:00~)

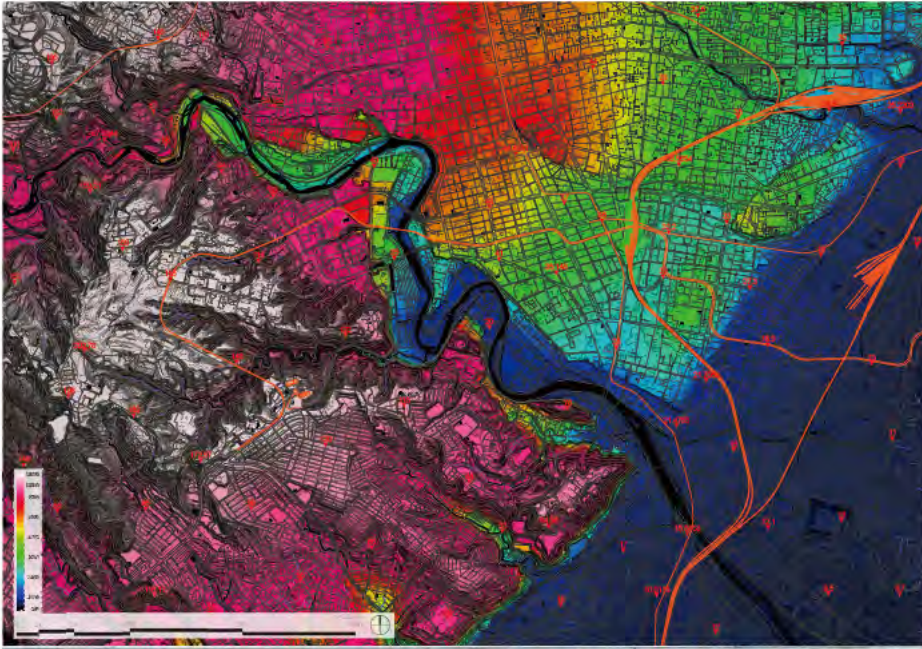
仙台国際センター 展示棟会議室 2

第一部 レクチャー

まちと地形の楽しみ方 (講師: 慶應義塾大学大学院 石川 初 教授)

第二部 ワークショップ・ディスカッション

せんだい魅力マップを考えよう



ゲスト講師

石川 初



慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
/ 環境情報学部教授

1964年京都府宇治市生まれ。基督教独立学園高等学校、東京農業大学農学部造園学科卒業。鹿島建設株式会社建築設計本部、Hellmuth, Obata and Kassabaum Saint Louis Planning Group、Kajima Design ランドスケープデザイン部、株式会社ランドスケープデザイン設計部を経て、2015年4月より現職。専門はランドスケープアーキテクチャ (景観・緑地・造園の計画、設計)、地理、地理教育 (地形、地図などの研究と表現)

モデレーター

松田 法子



京都府立大学生命環境学部環境デザイン学科

1978年生まれ。京都府立大学大学院生命環境科学研究科専任講師。まちづくりに関連したプロジェクトに「地-質からみる神戸」(2013/KIITO)、「地-質からみるさいたま」(2015-16/さいたまトリエンナーレ)、富山県水見市新朝日山公園の設計にかかる都市史・地域紙研究とワークショップ (2014-2017)、東急池上線「生活名所」ツアー「水景、谷景、生活景」(2017) など。

監修者: 槻橋 修

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻/
株式会社ティーハウス建築設計事務所主宰

主催: 仙台市建設局公園課 運営: AOBA JV (ティーハウス・グラク・文化財保存計画協会設計共同体)

プレイスメイキング
仙台の「伝え方」を創造するーワークショップー

青葉山公園(仮称)公園センター もりの歴史を未来へつなぐ

今回のプレイスメイキングは、青葉山公園 (仮称) 公園センターが新しい仙台の拠点になることを目指して、公園センター発での仙台の魅力の伝え方をみなさんと考えたいと思います。みなさんが伝えたい仙台の魅力はなんでしょうか。どうしたらその魅力を伝えられるでしょうか。最も新しい地形の楽しみ方、地図の使い方などを学びながら、仙台の魅力をもっと伝えられる方法について考えてみましょう。

ご参加には
事前のお申込みが
必要です。
定員40名

青葉山公園(仮称)公園センター もりの歴史を未来へつなぐ

プレイスメイキング

仙台の「伝え方」を創造するーワークショップー 参加申込書

■問い合わせ先

仙台市建設局公園課

電話:022-214-8397

FAX:022-214-8358

Eメール: ken010220@city.sendai.jp

申込日 年 月 日

締め切り1月5日(金) 17:00 必着

※定員40名・申込多数の場合は、抽選後、全員に結果をご連絡します。
※第一部のみの申し込みはできません。

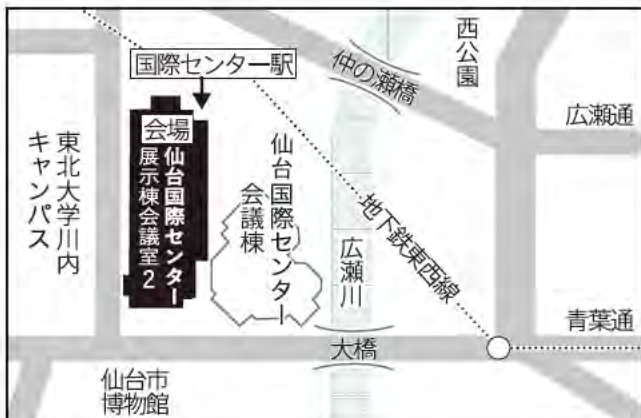
フリガナ		
氏名		
連絡先 <small>(希望する連絡方法を記入して下さい)</small>	電話番号	ファックス番号
	メールアドレス	
お住まいの地域等 (市・区) (町・丁目)	所属(職業、団体、学校等)	年齢(該当するものに○をつけて下さい) 10代 ・ 20代 ・ 30代 40代 ・ 50代 ・ 60代以上
公園センターにおける興味のある分野(地形、水系、歴史、観光、食・・・など)		

■申し込み方法

参加申込書に必要事項を記入し、FAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。

参加申込書にかかわらず必要事項が記載されていれば申込は可能です。電話でも受け付けします。

※個人情報、今回のイベント開催のみに利用致します。



会場: 仙台国際センター 展示棟会議室 2

地下鉄東西線 仙台駅から「国際センター駅」下車 約4分
仙台駅西口からタクシーで約7分 / 徒歩で約30分